

全国津々浦々

# ナビゲーターが 行く!

今号はナビゲーター(案内人)の中山と  
弊社代表の百成が  
information bridgeを導入いただいている  
石川県建設業協会様へお伺いし、対談します。

石川県

一般社団法人 **石川県建設業協会** 様



**中山** 今回は石川県建設業協会様にご協力を頂き、協会専務理事の山岸様と弊社代表の百成の対談に密着いたします。山岸様は以前、石川県の土木部長として積極的に建設業の課題解決に努めており、現在では協会専務として業界の生産性向上等に強力に取り組んでいらっしゃいます。

**百成** 10年以上前から、協会をはじめ、石川県のご担当者様には情報共有システムの普及にご尽力頂いていますが、導入の際にはどのような問題がありましたか？

**山岸様** 当時、県では受注者の負担をあまり考えず紙と電子の二重納品が行われていました。情報共有システムの導入にあたり、導入までの年間スケジュールを作成、利用件数にも目標を設定し、今までの課題を解決する新しい運用を考えました。その結果、二重納品も解消でき、順調なシステムの普及、そして業務効率化につながりました。

**百成** 他の自治体でもなかなかシステムの普及が進まない場合がありますが、計画性を持つことがとても重要ですね。

**山岸様** そうですね。まず、やってみることが大事だと思います。我々、協会の仕事は建設現場の働き方改革と生産性向上のサポートです。発注者側も、技術職員が減っているにも関わらず、業務量は増えている状況です。情報共有システムを活用すれば、発注者も受注者も、お互いに生産性を向上できるので、私も県内自治体への普及に努力したいと考えています。

**百成** ありがとうございます。おかげさまで県内では市町まで利用が拡大し、実績も増えています。これまで弊社と共同のコンソーシアムに取り組み、協会にはどのようなメリットを感じていらっしゃいますか？

**山岸様** システムが広く使われることで、協会員は国も県も市町も同じ環境で仕事ができ、業務の効率化が図れていると思います。また、近年はコンソーシアムの収益を活かし、ドローンを使った研修を会員向けに開催していますね。

**百成** 業界発展のために、最新の技術動向等の情報提供も行っているんですね。素晴らしいと思います！他の自治体では情報共有システム導入に抵抗を感じている場合もあるのですが、山岸専務はどうお考えですか？

**山岸様** 建設業界では担い手不足が深刻な問題となっています。若者が集まる業界にするには「新3K」を実現する必要があり、ICTのプラットフォームである情報共有システムが必要不可欠だと思います。地域を支えるのは地域の建設業であり、地域の建設業が疲弊するとインフラの維持管理も難しくなります。協会が積極的に「新3K」を実現する活動を行うことで、個社で若い方が活躍し、地域が盛りあがると信じています。

**中山** 非常に貴重なご意見、ありがとうございます。最後に、弊社に期待することをお聞かせください。

**山岸様** information bridgeの強みは、現場目線で使いやすいことです。市町でも中小企業でも利用できる、簡単で便利なシステムを、全国に普及させてください。

**中山** 建設業の未来を明るくできるように、これからもより一層、頑張りたいと思います！本日はありがとうございました。

